

平成23年度事業計画

(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)

平成23年度において、本会は溶接研究の拡充振興および溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会 (定款3条1項)

1.1 春季全国大会

平成23年4月20日～22日 学術総合センター (東京)
研究発表講演 (96件)、特別講演「KOBELCOの溶接事業についてー「世界のものづくり」への貢献ー」、シンポジウム「超大型インフラ構造物とその溶接」(講演7件)、フォーラム「高信頼性 Green 溶接プロセス開発のための知能化技術ーエコロジーとエコノミーが織りなす二つの ecoー」(講演7件)、若手会員の会イブニングフォーラム「製造現場における溶接技術の各種事例」

1.2 秋季全国大会

平成23年9月7日～9日 皇学館大学 (三重県伊勢市)
研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演 (2件)
フォーラム「溶接部健全性確保に向けた今後の溶接冶金ー割れ防止と靱性確保」、若手会員の会イブニングフォーラム、技術セッション「グリーンモビリティ社会を実現する先端技術」、ワークショップ「溶接技能伝承の最前線」

2. 講習会 (定款第3条1項)

2.1 平成23年度溶接入門講座 (第40回)

会 期 平成23年6月1日～2日
会 場 溶接学会 会議室 (東京)

2.2 平成23年度溶接工学夏季大学 (第60回) 「溶接中堅技術者講座」

会 期 平成23年7月27日～29日 (3日間)
会 場 大阪大学工学研究科岡田メモリアルホール (大阪)

2.3 平成23年度溶接工学入門1日講座 (第2回)

会 期 未定
会 場 未定

3. 刊 行 (定款第3条3項)

3.1 溶接学会誌 80巻2号 (平成23年3月号)～81巻1号 (平成24年1月号) 8冊

3.2 溶接学会論文集 (WEB 出版) 第29巻2号 (平成23年4月)～第30巻1号 (平成24年3月) 4冊

3.3 全国大会講演概要集 (第88集及び第89集) 2冊

3.4 平成23年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

3.5 溶接学会技術資料を随時刊行する。

4. 第79回通常総会

開催期日 平成23年4月21日

開催場所 学術総合センター (東京)

- 議 題
- 1) 平成22年度事業報告承認の件
 - 2) 平成22年度収支決算報告承認の件
 - 3) 監査報告
 - 4) 平成23年度事業計画承認の件
 - 5) 平成23年度収支予算承認の件

- 6) 溶接学会規則改定の件
- 7) 定款変更案の停止条件付き決議の件
- 8) 関連規程の停止条件付き決議の件
- 9) 一般社団法人への移行認可申請に関する件
- 10) 事務所移転の件
- 11) 名誉員推薦
- 12) 特別員推薦
- 13) 表彰
- 14) 溶接学会フェロー認定

5. 役員会

5.1 定例理事会を6回 (3, 4, 6, 9, 12, 2各月) 開催及び必要あるとき開催

5.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

6. 業務活動

6.1 企画委員会

本会の使命は、溶接接合技術をコアとしたものづくりの確固たる学術基盤の構築と、high 次元での溶接接合研究の先導であることを認識し、研究開発者と技術者が知的好奇心を満たせるインタラクティブな情報交換の場を提供できるよう、全国大会や支部活動、研究委員会などのあり方を検討する。特に平成23年度は、平成24年度開始時点での新法人化移行を目指す重要な年度であり、「公益性のある一般社団法人」としての視点から事業内容・事業区分を見直し、会員のみならず、広く社会に対して本会の存在意義を認識してもらえよう活動企画する。学会誌、論文集、web などを通じた本会の学術・技術情報の発信は、その重要な役割を担うものであり、日本溶接協会との連携強化も図りながら、溶接情報化ワークを推進する。

6.2 溶接情報化委員会

情報化 WG および定例委員会を開催し、企画委員会の情報化アクションプログラムに沿って、情報一元管理システムの構築を推進するとともに、本会 HP を通じた本会の出版物、研究委員会資料等の情報発信形態等を検討する。また、溶接学会誌のアーカイブ化を進めるとともに、JWES 溶接情報センターを通じた日本溶接協会との情報化推進ワークを継続して行っていく。

6.3 編集委員会

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。論文集は WEB 論文集として発行する。溶接学会誌は年8号を刊行し、特集、レビュー&トレンドなどの企画を行う。溶接接合教室ー実践編ーの連載を Vol.80 No.2 より開始する。溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニターによるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努める。平成22年のアンケートの取りまとめ結果は、学会誌 (Vol.80 No.5 予定) にて報告する。年間の学会誌掲載記事より、ベストオーサー賞候補者を選考する。溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総

合システム（J-stage）にて発行日から3年経過後に公開，溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開する．英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集に引き続き参加する．

6.4 論文査読・審査委員会

引き続き，インターネット利用による電子委員会をさらに推進し，査読期間の短縮を促進するとともに，投稿者と査読者がともに便利で使いやすい電子委員会システムへの改善に努める．原則年度内1回の全委員が集まる定例委員会を開催し，電子委員会システム移行上の課題の確認と改善のための検討，およびインターネットのみでは伝わりにくい種々の意見交換および議論にあてる．なお，2010年11月開催された大阪大学接合科学研究所主催（溶接学会共催）の国際会議「Visual-JW2010」に関して，8WSと同様の方法で Visual-JW2010 論文から査読中の34件を溶接学会論文集に特集として頁に「s」を付けて掲載する．

英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集と STWJ-JWS collaboration 推薦投稿を継続し，同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を進める．

6.5 全国大会運営委員会

- (1) 全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する．
- (2) 講演概要集第88集及び第89集を発行する．
- (3) 平成23年度秋季および平成24年度春季全国大会プログラムを編成する．
- (4) 全国大会における35歳以下の研究者による研究発表に対し，溶接学会研究発表賞の審査・推薦を行う．
- (5) 概要集の CD-ROM 化について引き続き協議する．
- (6) J-STAGE のシステム変更に伴う対応を協議する．

6.6 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し，本会の普及・教育活動に関する課題について検討する．
- (2) 23年度 IIW 国際溶接技術者特認コースの試験実施に向けて，J-ANB・日本溶接協会と連携し，プロフェッショナル・インタビュー，プロジェクトワーク，最終筆記試験などの実施要領を検討する．
- (3) IIW 特認コースの受験者のために，本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに，受講者のニーズをヒアリングしながら，内容を企画立案し実施する．
 - 1) 平成23年度溶接工学夏季大学（前掲）
 - 2) 平成23年度溶接入門講座（前掲）
 - 3) 溶接技術実用講座（支部と共催）
 - 4) 新規企画講習会，セミナーなど
- (4) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し，各国と溶接教育について情報を交換する．
- (5) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討する．
- (6) 日本溶接協会教育委員会と連携し，IIW スキームに準拠した溶接技術者教育用テキストの作成に向けた検討を行う．

6.7 国際交流委員会

必要ある時随時開催し，国際交流事業の企画立案及び実行態

勢の整備を行う．

国際溶接学会（IIW2011 7/17-22@ インド・チェンナイ）に参加する．日本，中国，韓国3ヶ国ジョイントシンポジウム（EAST-WJ）の第1回を5/31-6/1に中国・上海で開催する．アジア溶接連盟（AWF）の活動及びシンポジウムに引き続き参加する．

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワーク強化・国際化を促進するとともに，地方支部での若手会員の活動を積極的に支援する．また，若手会員・学生員，および賛助員企業の学会活動に対する積極的な参加を促すことを目的に，若手会員・学生員，および賛助員企業に対して魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する．さらに，学会員以外の方々にも参加していただき，学会員の増強・学会の広報の一助となるような行事を企画し，より幅広く活動を展開する．

7.2 イベント

- (1) 春季全国大会フォーラム（共催：(財)溶接接合工学振興会）

主 題：製造現場における溶接技術の各種事例

日 時：平成23年4月21日（木）17:30～19:00

場 所：学術総合センター（春季全国大会開催会場）

- (2) 秋季全国大会フォーラム

主 題：若手の研究ポスターセッションと交流会

日 時：平成23年9月8日（金）

場 所：皇學館大学（秋季全国大会開催会場）

- (3) 研究会・見学会1（九州支部との共催）

日時・場所：平成23年5月（予定），国立沖縄高専

- (4) 研究会・見学会2

日時・場所：平成23年12月（予定），大阪大学

- (5) 若手会員間の交流活性化，若手会員活動の活性化，若手会員の増強などに資する提言を行う．

7.3 情報交換および広報

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に連載記事，活動報告等を掲載する．
- (2) 溶接学会誌に「スポットライトー若手の特集記事一」を掲載する．
- (3) ホームページに，活動報告，研究室・研究所紹介等の情報を掲載する．
- (4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進する．

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し，各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会，アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う．学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充，研究委員会設置形態の見直し，国際化対応等について検討する．
- (2) 春季全国大会においてフォーラム（溶接法研究委員会）を開催する．また，昨年とりまとめた各研究委員会のロードマップを紹介，討議するシンポジウムを開催する．
- (3) 秋季全国大会においてフォーラム（溶接冶金研究委員

- 会)を開催する。
- (4) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」(中込忠男主査)
- 供試材として化学成分が異なる短冊状の鋼材を数種類用意し、冷間成形形鋼管の角部曲げ半径を模すようにU形に曲げた後、曲げの内側が引張になるように応力を与えめっきを行なう。その結果、めっき割れが発生した供試材について曲げ加工後の残留応力をX線回折測定法により測定する。また、巨視的な残留応力をひずみゲージ法で測定し、X線回折測定法との関連を検討する。更に曲げ加工による結晶粒の形状変化を観察し割れ発生との関連を検討する。
- (5) アドホック研究会「FSWの品質保証に関する研究会」(安井利明主査)
- 平成22年度末をもって終了した研究会の成果を平成23年度秋季全国大会において報告する。
- (6) 溶接学会記念基金助成活動
- 「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会(佐藤 裕 主査)
- 平成23年5月31日(火)～6月1日(水)、中国・上海にて開催される日中韓ジョイントシンポジウムへ講師派遣を行う。
- (7) 腐食防食協会との研究交流
- 将来の溶接学会－腐食防食協会の合同委員会設置を念頭に、腐食防食協会との研究交流を開始する。

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第190回	3月	東京	東北地方太平洋沖地震発生により開催中止
第191回	5月	未定	研究報告 5件
第192回	11月	未定	研究報告 5件
第193回	未定	未定	未定

溶接構造シンポジウム2011を開催する。

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第214回	5月	東京	研究報告 5～6件
第215回	8月	大阪	研究報告 5～6件
第216回	11月	未定	研究報告 5～6件 見学会
第217回	未定	未定	未定

JIW 第12委員会、JIW 第212委員会と協力して国際研究活動を行う。

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 見学会 地方開催時および随時

- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第203回	5月	東京	研究報告 5～6件
第204回	8月	未定	研究報告 5～6件
第205回	11月	未定	研究報告 5～6件 見学会
第206回	未定	未定	未定

JIW 第9委員会と協力して国際研究活動を行う。

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第229回	4月	東京	研究報告 4～5件
第230回	7月	東京	研究報告 4～5件
第231回	11月	未定	研究報告 4～5件 見学会
第232回	未定	未定	未定

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第67回	6月	東京	研究報告 5～6件
第68回	10月	未定	研究報告 5～6件 見学会
第69回	未定	未定	未定

JIW 第4委員会と協力して国際研究活動を行う。

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第93回	6月	東京	講演、研究報告 5～6件
第94回	9月	大阪	講演、研究報告 5～6件
第95回	11月	未定	講演、研究報告 5～6件 見学会
第96回	未定	未定	未定

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。
WG 活動を行う。

8.8 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第 97 回	6 月	東京	講演、研究発表 4～6 件
第 98 回	1 0 月	東京	講演、研究発表 4～6 件
第 99 回	未定	未定	未定

(4) ソルダリング分科会を開催する。

会合名	開催月日	開催地	内容
第 51 回	7 月	東京	単独開催、テーマ設定方式
第 52 回	1 1 月	東京	単独開催、テーマ設定方式

8.9 界面接合研究委員会

- (1) 開催回数 年 3 回
- (2) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日または 2 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第 87 回	5 月	東京	特別講演 1 件・研究発表 4～5 件
第 88 回	1 0 月	東京	特別講演 1 件・研究発表 4～5 件
第 89 回	未定	未定	未定

JIW 第 1 委員会などと協力して国際研究活動を行う。

9. 国内活動

- 9.1 日本溶接協会、軽金属溶接構造協会とともに溶接会館（仮称）に事務所を移転し、両協会との連携・協力関係をより深化させる。
- 9.2 日本学会会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本高圧力技術協会、腐食防食協会、日本機械学会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会との協力を進め、本会の目標達成を図る。
- 9.3 支部活動の活性化を図る。

10. 国際活動

- 10.1 JIW の活動を支援し、IIW の活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。
- 10.2 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換し交流を図る。
- 10.3 日本、中国、韓国 3 ヶ国ジョイントシンポジウムの第 1 回を 5/31-6/1 中国・上海で開催する。
- 10.4 アジア溶接連盟（AWF）の活動及びシンポジウムに引き続き参加する。

平成 23 年度支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業

1.1 溶接技術競技大会

開会式挨拶
日 時：未定
場 所：未定

1.2 北海道支部長賞の授与

日 時：未定
場 所：未定

1.3 見学会：未定

1.4 講習会：未定

1.5 研究会：未定

2. 会務

2.1 平成23年度支部商議員会並びに支部総会

日 時：平成23年 3 月14日（月）16:00～17:00
場 所：北海道大学工学部本館 A1-01 室

2.2 幹事会：2 回開催予定

2.3 各賞授賞者審査委員会及び選考委員会

- (1) 溶接学会溶接技術普及賞審査委員会
- (2) 溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会
- (3) 溶接学会奨学賞・溶接学会北海道支部学生奨学賞選考委員会
- (4) 溶接学会溶接学術振興賞

2. 東北支部

1.1 第23回溶接・接合研究会

日 時：平成23年 7 月15日（金）13：00～17：00
場 所：日本大学工学部（福島県郡山市）
講演発表：10件程度

参加者数：50名程度

1.2 刊行：なし

2. 会務

2.1 第48回商議員会

日 時：平成23年 5 月14日（土）11：00～12：00
場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

2.2 表彰

日 時：平成23年 5 月14日（土）12：00～12：30
場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送（平成22年 6 月中旬）

3. 東部支部

1. 事業

1.1 第39回 実用溶接講座（見学会&講演会）

平成23年秋に実施予定
主題：詳細検討中

1.2 地区講演会・講習会

- (1) 東京地区（地区委員長：村田義明（日鐵住金溶接工業））：開催予定（詳細未定）
- (2) 神奈川地区（地区委員長：飯島 亨（IHI））：溶接技術講習会を開催予定（詳細未定）
- (3) 千葉地区（地区委員長：加藤数良（日本大学））：溶接技術講習会
主題：「鉄骨・大型製品・鉄道車輛・建設機械の溶接について」
主 催：（社）千葉県溶接協会
共 催：（社）溶接学会 東部支部 千葉地区委員会
開催日：平成23年 3 月25日（金）9：30～15：40

開催場所：千葉県産業支援技術研究所

講演題目（講師）：

1. 鉄骨の溶接について（川岸工業㈱，石村 博 氏）
2. 大型製缶品の溶接について（㈱荏原製作所，三浦克広 氏）
3. 鉄道車輛の溶接について（東急車輛製造㈱，岡田 寿 氏）
4. 建設機械の溶接について（日立建機㈱，佐々木貴之 氏）

(4) 茨城地区（地区委員長：平野 聡（日立製作所））：

主 題：茨城地区委員会 講習会

主 催：（社）溶接学会 東部支部 茨城地区委員会

開催日時：平成23年3月1日（火） 14:00～16:10

開催場所：（財）日立地区産業支援センター（茨城県日立市）

講演題目（講師）：

1. 最近のアーカ溶接機器とその特徴（㈱ダイヘン溶接メカトロカンパニー 三田常夫 氏）
2. シールドガスの役割と新しい展開（大陽日酸㈱ 高橋 誠 氏）

(5) 埼玉地区（地区委員長：金子裕良（埼玉大学））：

アーカ溶接機器の取り扱いについての講習会を開催予定（詳細未定）

(6) 栃木地区（地区委員長：中島章典（宇都宮大学））：開催予定（詳細未定）

(7) 群馬地区（地区委員長：楠元一臣（群馬大学））：

加工技術セミナー

主 題：溶接ロボット入門 -講義と実習-

主 催：（社）溶接学会東部支部群馬地区委員会

協 賛：群馬地区技術交流研究会，（財）地域産学官連携ものづくり研究機構

開催日：平成23年3月下旬（実施予定）

開催場所：群馬大学工学部 生産システム工学科（太田キャンパス）

加工技術セミナー

主 題：プラズマ・レーザ加工入門 -講義と実習-

主 催：（社）溶接学会東部支部群馬地区委員会

協 賛：群馬地区技術交流研究会，（財）地域産学官連携ものづくり研究機構

開催日：平成23年3月下旬（実施予定）

開催場所：群馬大学工学部 生産システム工学科（太田キャンパス）

(8) 新潟地区（地区委員長：宮下幸雄（長岡技術科学大学））：

講習会を開催予定（詳細未定）

(9) 山梨地区（地区委員長：宮川和幸（山梨県工業技術センター））：

講習会を開催予定（詳細未定）

(10) 長野地区（地区委員長：中込忠男（信州大学））：

平成23年10月に建築鉄骨に関する講習会を開催予定（詳細未定）

2. 会務

2.1 平成23年度，支部通常総会

平成22年度事業報告および会務報告承認の件

平成22年度収支決算報告承認の件

平成23年度事業計画承認の件

平成23年度収支予算承認の件

平成22年度溶接技術奨励賞および溶接技術普及賞の受賞式

2.2 常任幹事会・地区委員長会議

年4回，適宜開催する。

2.3 表彰

1) 平成22年度 溶接技術奨励賞，溶接技術普及賞の表彰

平成23年 5月13日（金），（社）溶接学会，会議室 開催予定

支部総会にて受賞式を行い表彰する。

受賞祝賀会：受賞式終了後，秋葉原周辺にて実施予定。

2) 平成22年度 溶接学会奨学賞および溶接学会東部支部奨学賞の表彰

平成23年 3月

楯を推薦者に送付し，推薦者から受賞者に楯を授与して表彰する。

4. 東海支部

1. 事業計画

1.1 溶接研究会，講習会

(1) 溶接研究会

第75回 平成23年11月 岐阜大学

第76回 平成24年2月 名古屋市工業研究所

(2) 講習会

第18回溶接技術講習会 平成23年4月25日（月）

「薄鋼板及びアルミニウム合金板の抵抗スポット溶接」

第19回溶接技術講習会 平成23年7月

1.2 溶接学会秋季全国大会伊勢大会

日 時：平成23年9月7日（水）～9日（金）

場 所：皇學館大學

2. 会務計画

2.1 平成23年度支部総会及び特別講演

日 時：平成23年5月13日（金）

場 所：名古屋市工業研究所

議 事：

1) 平成22年度事業報告及び決算報告

2) 平成23年度事業計画案及び予算案の審議

3) 平成23年9月秋季全国大会伊勢大会準備状況報告

4) 溶接学会技術賞授賞式

特別講演2件

2.2 支部商議員会および秋季全国大会伊勢大会実行委員会

第1回商議員会 平成23年5月 名古屋市工業研究所

第2回商議員会 平成23年11月 名古屋市工業研究所

第2回全国大会実行委員会 平成23年5月 名古屋市工業研究所

第3回全国大会実行委員会 平成23年9月 皇學館大學

5. 北陸支部

1. 事業

1.1 特別講演会

開催回数；2回，開催日：6月，11月，

場 所：富山県工業技術センター（6月），11月は未定

内 容；

・6月開催の場合；富山県ものづくり研究開発センター（新設）の見学を含めた講演会を企画 テーマは未定

・11月開催の場合：未定

- 1.2 工場見学会
開催日、場所等未定（6月開催計画）
- 1.3 研究発表会
開催日；11月 場所、内容は、未定

- 2. 会務報告
- 2.1 平成23年度通常総会
開催日；6月予定
場 所；富山県工業技術センター
- 2.2 商議員会
開催時期（6月、11月予定）
場 所；通常総会と同時開催（未定）

6. 関西支部

- 1. 事業
(1) 平成23年度講演・工場見学会
関西地区の工場見学および研究発表を計画（平成23年秋頃、場所・テーマ未定）
(2) 上記研究発表テキストを刊行予定
- 2. 会務
(1) 役員会
平成23年度役員会を平成23年5月頃に開催予定（場所未定）

7. 中国支部

- 1. 事業計画
- 1.1 第8回溶接・接合工学学修会
趣 旨：溶接・接合工学の基礎力を持つ人材育成
日 時・会場：（未定）
参加者数：40名程度
講演題目・講師：（未定）
- 1.2 溶接技術講習会
日時・会場：（未定）
参加者数：50名程度
講演題目・講師：（未定）
- 1.3 研究会・見学会
日時・会場：（未定）
参加者数：30～50名
- 2. 会務計画
- 2.1 第1回 幹事会
日 時：平成23年6月（予定）
会 場：（広島市内）
議 題：1) 溶接・接合工学学習会の開催、2) 溶接技術講習会の開催、3) 研究会・見学会の開催、4) その他
- 2.2 第2回 幹事会
日 時：平成23年12月（予定）
会 場：（広島市内）
議 題：支部開催の各行事の報告および経過、各種表彰推薦者の審査、その他
- 2.3 第3回 幹事会・商議員会合同会議
日 時：平成24年3月（予定）
会 場：（広島市内）
議 題：1) 平成23年度事業・会務報告、2) 平成24年度事業・会務計画、3) 各種賞受賞報告、4) その他
- 2.4 総会・特別講演会
日 時：平成24年3月（予定）
会 場：（広島市内）
議 題：1) 平成23年度事業・会務報告、2) 平成24年度事業・会務計画、3) 表彰式、4) その他

受賞記念講演会

8. 四国支部

- 1. 事業
- 1.1 講習会、セミナー
- 1.1.1 平成23年度溶接技術実用講座（予定）
日 時：平成23年7月30日（金）
場 所：愛媛県産業技術研究所
- 1.1.2 平成23年度溶接技術基礎講座（予定）
日 時：平成23年12月16日（金）
場 所：香川県産業技術センター
- 1.2 第16回材料関連学協会支部・研究会連合講演会
日 時：平成23年3月9日（水）
場 所：徳島大学
- 1.3 刊行
出版物名：第16回材料関連学協会支部・研究会連合講演会講演概要集

- 2. 会務報告
- 2.1 常任幹事、地区委員長会議
- 2.1.1 第1回幹事会
日 時：平成23年3月9日（水）
場 所：徳島大学
- 2.1.2 第2回幹事会
日 時：平成23年7月30日（金）
場 所：愛媛県産業技術研究所
- 2.1.3 第3回幹事会
日 時：平成23年12月16日（金）
場 所：香川県産業技術センター

9. 九州支部

- 1. 事業
- 1.1 平成23年度溶接学会九州支部研究発表会
日 時：平成23年7月29日（金）9:30～16:30（予定）
会 場：熊本大学黒髪キャンパス
研究発表5～10件
参加者：30～40名
- 1.2 第3回、第4回 若手グループ研究会・見学会
日時、会場 調整中
- 1.3 溶接技術者育成教育
- 1.4 刊行
出版物名：溶接学会九州支部講演論文集、第8号
- 2. 会務
- 2.1 平成23年度商議員会
日 時：平成23年7月29日（金）12:00～13:00（予定）
会 場：熊本大学黒髪キャンパス
- 2.2 表彰
日 時：平成23年7月29日（金）13:00～13:10（予定）
会 場：熊本大学黒髪キャンパス
平成22年度溶接学術振興賞（推薦中）：1名
平成22年度本部奨学賞（報告）（推薦中）：2名
平成22年度九州支部奨学賞（報告）：3名
- 2.3 平成23年度通常総会
日 時：平成23年7月29日（金）13:10～13:30（予定）
会 場：熊本大学黒髪キャンパス